

データを活用した 経営支援の進め方

研修のねらい

本研修では、データ活用の重要性やデータを見る視点を学んだ上で、企業経営や職場の問題解決におけるデータ活用の考え方・取り組み方を事例演習を通して身につけます。また、説得力のあるアドバイスの裏付となるデータ分析の手法を習得し、経営支援の質の向上を図ります。

研修期間

2026年
8/3月～8/5水
(3日間、20時間)

対象者

- 中小企業支援担当者又は中小企業支援協力機関の職員で中堅担当者又は職務経験5年程度以上の方

定員 20名

受講料 23,000円(税込)

会場

中小企業大学校 関西校

大阪市中央区安土町2-3-13
大阪国際ビルディング

研修のポイント

- データの収集、加工、並びに分析手法が身につきます。
- 分析結果に説得力を持たせた説明ができるようになります。
- 事業者に伴走した支援のあり方について検討します。

月日	時間	科目	内容
8/3 月	9:30-9:40	事務連絡	
	9:40-12:40 13:40-15:40	「聴く」 データに基づく 経営支援のポイント	持続的な経営を支援するために、事業者や関係者の心を動かすデータ活用、伴走型支援のポイントを学びます。 <ul style="list-style-type: none">中小企業を取り巻く現状と課題の共有データドリブン経営の必要性経営支援における事業者との対話ポイント経営支援に用いるデータの種類と特徴経営支援に使える代表的なフレームワーク
	15:40-17:40	「調べる」 経営支援における データ収集 (演習)	インターネット上のオープンデータを活用した経営環境の把握、社内データを活用した経営支援について、表計算ソフトを活用しながら実践的に学びます。 <ul style="list-style-type: none">経営支援におけるオープンデータの調べ方 (演習)経営課題に応じた様々なデータの収集と組立て (演習)
8/4 火	9:30-12:30	「分析する」 基本的な分析手法 (演習)	データを読み解くために知っておきたい統計の基本について、表計算ソフトを活用してサンプルデータを分析しながら学びます。 <ul style="list-style-type: none">平均値、中央値、最頻値四分位、分散、標準偏差相関と因果
	13:30-17:30	「読む」 データの読み方と 注意点 (演習)	経営課題に関するデータの見方を確認するとともに、表計算ソフトを活用したデータの素早いグラフ化、AIの活用について学びます。 <ul style="list-style-type: none">データを読む時に気をつけたいこと (演習)グラフの使い方とその応用AIの活用と注意点
8/5 水	9:30-12:30	「伝える」 説得力を生み出す プレゼンテーション (演習)	データを活用した説得力のあるプレゼンテーションを行うための基本について、実践的な演習を通して学びます。 <ul style="list-style-type: none">プレゼンテーションのポイント資料作成のコツデータに基づいた効果的な説明方法
	13:30-16:30	総合演習 事業者に寄り添う 伴走型支援	事例企業の伴走型支援計画策定、データ活用支援の具体的なアクションプラン作成しプレゼンテーションします。
	16:30-16:40	修了証書交付	

※事務連絡等を含んだ時間：20時間20分

※カリキュラムは都合により変更する場合があります。予めご了承ください。

※講義終了後に、最新の支援施策情報も紹介する場合がございます。(5～10分程度)

(受講者持参物) ・パソコン (Excel、PowerPoint)

講師紹介(敬称略)



中小企業診断士

服部 繁一 (はっとりしげかず)

桃山学院大学ビジネスデザイン学部 准教授、ITストラテジスト、一級販売士、認定経営革新等支援機関上場企業にて、Webシステムの企画・設計・開発・管理、ITコンサルティングなどを経験した後、地域総合経済団体にて、インキュベーション・マネジャーを務める。現在は、中小企業診断士として実務、研究、教育に従事。実務面は、製造業・卸売業・物流業などさまざまな業界の起業希望者から中小企業経営者まで、3,000社以上の経営および創業支援実績があり、特に多角的視点を持った事業計画作成の支援に定評がある。また研究面では、実務を踏まえて情報が中小企業経営に及ぼす影響に関するメカニズムの解明に取り組んでいる。